

The Episode of Oil Massage⑥乳房の腫れと脚の激痛

体質研究所主宰 松原秀樹

関節法を考案するきっかけとなったインド旅行に行く1ヶ月ほどの前、70代の夫婦が相談にいらした。奥様の右の乳房が倍ほどに膨れてしまって困っているのだという。

病院で調べたら「乳ガンではないから、特に何もする必要はない」と言われたが、豊胸なので、かなりの大きさである。うつぶせに寝ると、背中がかなり傾斜する。

私は、ヒマシ油を毎日胸に擦りこむように、そして一日1回、遠赤外線ですの胸を20分くらい温めることをお勧めした。

すると2週間ほどたつて乳房の下から突然、どす黒い血がポタポタと流れ出てきた。慌てて電話してきたので、「決して出血を止めないように！ガーゼを当てて頻繁に取り替えて、自然に止まるまで毎日ヒマシ油のマッサージを続けてください」とアドバイスした。それから1ヶ月ほどで自然に出血が止まり、乳房も本来の大きさに戻った。

ヒマシ油の“排膿効果”を物語るよい例である。

2ヶ月前に78歳の女性患者が、突然右脚が痛くなって歩行困難になった。原因は、静脈瘤の手術でカテーテルを挿入した傷跡だった。そこで、傷跡に毎日ヒマシ油を擦りこむように勧めた。すると2週間ほどして突然、傷跡から多量の膿が排出されて、1ヶ月ほどで続けて脚の痛みが消失した。